

岡山県 メインバンク動向調査（2024 年）

トップの中国銀行、シェア 46.20%

～上位 20 位中、6 つの金融機関がシェアを拡大～

はじめに

金融機関は地域経済の原動力である地元企業への資金繰りサポートを主体に、継続的な伴走型支援を行うことで企業の安定的な経営に大きな役割を果たしている。ただ、地方におけるさらなる少子高齢化で生産年齢人口が減少するなか、主に若年層を中心とした大都市圏への人口流出に加え、近年の円安基調、引き続く物価高などで地方経済の先行きに対する懸念が強まっており、金融業界を取り巻く環境もより厳しさが増している。今年 3 月には日本銀行が 17 年ぶりに金利を引き上げ、7 月には追加の利上げを行った。今後、さらなる利上げも見込まれる金融情勢のもとで、各金融機関には地元企業へのこれまで以上の金融支援が求められている。

帝国データバンク岡山支店で、2024 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（全国約 147 万社）の中から岡山県の企業 2 万 3665 社を抽出し、メインバンクと認識している金融機関について集計・分析した（シェアは小数点以下第 3 位を四捨五入。シェア増減はその差。前年調査の対象企業は 2 万 3711 社）。この調査は今回で 15 回目、調査対象は全業種・全法人（個人経営も含む）。

※本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

調査結果（要旨）

1. トップは「中国銀行」でシェア 46.20%（企業数 1 万 934 社）。2 位は「トマト銀行」で 11.38%（2693 社）、3 位は「おかやま信用金庫」で 10.30%（2438 社）、この 3 つの金融機関で全体の 67.89%を占める。上位 20 位中、6 つの金融機関がシェアを拡大
2. 業種別では、「中国銀行」「トマト銀行」「おかやま信用金庫」が主要 7 業種で 1 位～3 位を占める。県外の金融機関では、「広島銀行」「百十四銀行」が主要 7 業種すべてでランクイン
3. 取引先の売上規模別では、『10 億円未満』までは「中国銀行」「トマト銀行」「おかやま信用金庫」が 1 位～3 位を占める。『10 億円～50 億円未満』『50 億円以上』では「広島銀行」が 3 位、『50 億円以上』では「三菱 U F J 銀行」が 2 位と、県外地銀やメガバンクが上位に

1. ランキング：「中国銀行」が46.20%でトップ、1位～8位に変動なし

岡山県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関の上位は、表1の通り。

1位は「中国銀行」（本店・岡山市）で、シェア46.20%（企業数1万934社）を占めた。2位は「トマト銀行」（本店・岡山市）の11.38%（2693社）、3位は「おかやま信用金庫」（本店・岡山市）の10.30%（2438社）だった。この上位3つの金融機関のシェア合計は67.89%となり、地元岡山県に圧倒的な店舗網と取引先数を持つトップ3の金融機関をメインバンクとする企業が3分の2以上を占めた。

県内に本店を置くその他の金融機関では、「玉島信用金庫」（4位）、「水島信用金庫」（5位）、「備前日生信用金庫」（8位）、「笠岡信用組合」（9位）が上位に入った。

県外に本店を置く金融機関では、「百十四銀行」（高松市）が6位、「広島銀行」（広島市）が7位、「香川銀行」（高松市）が10位となり、隣接県の地銀が上位に入った。

メガバンクでは、「三井住友銀行」（東京都・17位）が最も上位となったが、シェアは1%未満にとどまった。

前年調査と比較すると、1位～8位までの順位に変動はなかった。

トップ20のシェア増減をみると、シェアを伸ばしたのは6つの金融機関だった。上昇率が最も高かったのは、12位の「吉備信用金庫」が前年比0.05pt増だった。次いで、9位の「笠岡信用組合」が0.04pt増、4位の「玉島信用金庫」が0.03pt増で続いた。

■表1：岡山県 シェア上位の金融機関

2024年 順位	2023年 順位	金融機関名	本店所在地	2024年		シェア 増減(%)	2023年	
				社数	シェア		社数	シェア
1	(1)	中国	岡山市	10,934	46.20%	▲ 0.34	11,034	46.54%
2	(2)	トマト	岡山市	2,693	11.38%	▲ 0.05	2,710	11.43%
3	(3)	おかやま信金	岡山市	2,438	10.30%	▲ 0.17	2,482	10.47%
4	(4)	玉島信金	倉敷市	834	3.52%	+0.03	827	3.49%
5	(5)	水島信金	倉敷市	637	2.69%	+0.01	636	2.68%
6	(6)	百十四	高松市	596	2.52%	▲ 0.05	609	2.57%
7	(7)	広島	広島市	592	2.50%	▲ 0.01	594	2.51%
8	(8)	備前日生信金	備前市	512	2.16%	▲ 0.10	537	2.26%
9	(10)	笠岡信組	笠岡市	493	2.08%	+0.04	483	2.04%
10	(9)	香川	高松市	481	2.03%	▲ 0.02	485	2.05%
11	(11)	津山信金	津山市	377	1.59%	0.00	377	1.59%
12	(12)	吉備信金	総社市	317	1.34%	+0.05	305	1.29%
13	(13)	山陰合同	松江市	288	1.22%	▲ 0.01	292	1.23%
14	(14)	備北信金	高梁市	268	1.13%	+0.01	266	1.12%
15	(15)	伊予	松山市	239	1.01%	+0.01	238	1.00%
16	(16)	晴れの国岡山農協	倉敷市	211	0.89%	▲ 0.02	215	0.91%
17	(17)	三井住友	東京都	164	0.69%	▲ 0.03	170	0.72%
18	(18)	三菱UFJ	東京都	160	0.68%	▲ 0.02	167	0.70%
19	(19)	鳥取	鳥取市	145	0.61%	▲ 0.01	147	0.62%
20	(20)	みずほ	東京都	129	0.55%	0.00	131	0.55%

※シェアは少数点以下第3位を四捨五入、シェア増減はその差

2. 業種別： トップの「中国銀行」、主要 7 業種でシェア 35%を超える

主要 7 業種（『建設』『製造』『卸売』『小売』『運輸・通信』『サービス』『不動産』）別の上位は、表 2 の通り。

トップの「中国銀行」は、全 7 業種で 35%以上のシェアを占めた。とりわけ、『サービス』のシェアは 50.76%（2953 社）となり、半数を超えた。また、『建設』『製造』『卸売』『運輸・通信』でも 45%を超える高い水準となった。

「トマト銀行」は 5 業種で 2 位、2 業種で 3 位となり、全 7 業種でシェアが 10%を超えた。「おかやま信用金庫」は 2 業種で 2 位、5 業種で 3 位となった。

県外の金融機関では、「広島銀行」「百十四銀行」が全 7 業種でランクインした。また、「香川銀行」が『建設』『製造』『卸売』『サービス』『不動産』の 5 業種でランクインした。

■表 2： 主要 7 業種別 シェア上位の金融機関

建設

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,115	46.34%
2	おかやま信金	857	12.75%
3	トマト	815	12.12%
4	水島信金	296	4.40%
5	玉島信金	238	3.54%
6	備前日生信金	158	2.35%
7	香川	156	2.32%
8	百十四	139	2.07%
9	広島	136	2.02%
10	笠岡信組	132	1.96%
合 計		6,722	100.00%

製造

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,282	47.36%
2	トマト	304	11.23%
3	おかやま信金	249	9.20%
4	広島	118	4.36%
5	百十四	92	3.40%
6	玉島信金	89	3.29%
7	水島信金	78	2.88%
8	備前日生信金	61	2.25%
9	香川	51	1.88%
	山陰合同	51	1.88%
合 計		2,707	100.00%

卸売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,037	47.01%
2	トマト	249	11.29%
3	おかやま信金	222	10.06%
4	広島	84	3.81%
5	百十四	69	3.13%
6	玉島信金	65	2.95%
7	香川	60	2.72%
8	笠岡信組	48	2.18%
9	水島信金	37	1.68%
10	津山信金	36	1.63%
	山陰合同	36	1.63%
合 計		2,206	100.00%

小売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,315	41.57%
2	トマト	386	12.20%
3	おかやま信金	355	11.22%
4	玉島信金	158	5.00%
5	備前日生信金	89	2.81%
6	百十四	87	2.75%
7	笠岡信組	79	2.50%
	広島	79	2.50%
9	備北信金	77	2.43%
	津山信金	77	2.43%
合 計		3,163	100.00%

運輸・通信

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	419	46.35%
2	トマト	111	12.28%
3	おかやま信金	76	8.41%
4	備前日生信金	68	7.52%
5	笠岡信組	38	4.20%
6	百十四	29	3.21%
7	広島	21	2.32%
8	商工中金	19	2.10%
	水島信金	19	2.10%
10	玉島信金	18	1.99%
合 計		904	100.00%

サービス

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	2,953	50.76%
2	トマト	623	10.71%
3	おかやま信金	446	7.67%
4	玉島信金	160	2.75%
5	百十四	121	2.08%
6	津山信金	96	1.65%
7	香川	90	1.55%
	広島	90	1.55%
9	笠岡信組	88	1.51%
10	水島信金	87	1.50%
合 計		5,817	100.00%

不動産

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	520	36.04%
2	おかやま信金	187	12.96%
3	トマト	151	10.46%
4	玉島信金	92	6.38%
5	香川	54	3.74%
6	百十四	51	3.53%
	広島	51	3.53%
8	笠岡信組	49	3.40%
9	水島信金	44	3.05%
10	吉備信金	26	1.80%
合 計		1,443	100.00%

※ 主要 7 業種以外に「その他」の業種で 703 社あり

3. 取引先の売上規模別：『10 億円以上』で県外地銀、メガが上位に

取引先の売上規模別の上位は、表 3 の通り。

「中国銀行」は 6 分類すべてで 4 割を超えるシェアを占めて、トップとなった。とりわけ、『50 億円以上』でシェア 53.19%（200 社）、『5000 万円～1 億円未満』で 47.47%（2018 社）、『10 億円～50 億円未満』で 47.07%（586 社）、『5000 万円未満』で 46.09%（4319 社）と高かった。

『5000 万円未満』『5000 万円～1 億円未満』では「おかやま信用金庫」が 2 位に、『1 億円～5 億円未満』『5 億円～10 億円未満』『10 億円～50 億円未満』では「トマト銀行」が 2 位となった。

『10 億円～50 億円未満』では、「広島銀行」が 3 位、「百十四銀行」が 5 位となり、『50 億円以上』では、「三菱UFJ 銀行」が 2 位、「広島銀行」が 3 位、「百十四銀行」「三井住友銀行」がともに 5 位となるなど、県外の地方銀行やメガバンクが多数ランクインした。

■表 3： 取引先の売上規模別 シェア上位の金融機関

5000万円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	4,319	46.09%
2	おかやま信金	1,082	11.55%
3	トマト	1,044	11.14%
4	玉島信金	342	3.65%
5	水島信金	244	2.60%
6	備前日生信金	233	2.49%
7	津山信金	196	2.09%
8	笠岡信組	192	2.05%
9	広島	175	1.87%
10	百十四	160	1.71%
合 計		9,371	100.00%

5000万円～1億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	2,018	47.47%
2	おかやま信金	509	11.97%
3	トマト	490	11.53%
4	玉島信金	155	3.65%
5	水島信金	135	3.18%
6	百十四	97	2.28%
7	笠岡信組	96	2.26%
8	備前日生信金	93	2.19%
	広島	93	2.19%
10	香川	80	1.88%
合 計		4,251	100.00%

1億円～5億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,161	45.30%
2	トマト	886	12.70%
3	おかやま信金	675	9.67%
4	玉島信金	261	3.74%
5	水島信金	212	3.04%
6	百十四	207	2.97%
7	広島	184	2.64%
8	香川	180	2.58%
9	笠岡信組	166	2.38%
10	備前日生信金	155	2.22%
合 計		6,978	100.00%

5億円～10億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	603	45.96%
2	トマト	131	9.98%
3	おかやま信金	108	8.23%
4	百十四	63	4.80%
5	広島	51	3.89%
6	玉島信金	41	3.13%
7	香川	40	3.05%
8	伊予	30	2.29%
9	笠岡信組	29	2.21%
	水島信金	29	2.21%
合 計		1,312	100.00%

10億円～50億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	586	47.07%
2	トマト	121	9.72%
3	広島	68	5.46%
4	おかやま信金	57	4.58%
5	百十四	55	4.42%
6	伊予	35	2.81%
7	香川	34	2.73%
8	山陰合同	31	2.49%
9	玉島信金	29	2.33%
10	三菱UFJ	28	2.25%
	みずほ	28	2.25%
合 計		1,245	100.00%

50億円以上

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	200	53.19%
2	三菱UFJ	21	5.59%
3	広島	20	5.32%
4	トマト	17	4.52%
5	百十四	14	3.72%
	三井住友	14	3.72%
7	みずほ	11	2.93%
8	商工中金	7	1.86%
9	伊予	6	1.60%
10	香川	5	1.33%
	鳥取	5	1.33%
合 計		376	100.00%

※売上高の登録のない企業を除く

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：越久田
 TEL 086-224-4681 FAX 086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。